

上手にクズ退治！ 繁茂する前に

株の頭に一押滴下するだけ。



処理時(5月上旬)

やっかいなクズを根まで枯らします。



処理20日後(5月下旬)



未処理区

クズコロシ処理区(フェンス部分)

■クズの生育期間



推奨処理時期

繁茂する前に処理するのがポイント！

クズコロシ 液剤

農林水産省登録 第17374号



クズコロンは宿根性
広葉雑草の根部を
確実に枯殺します。

クズコロン 液剤

成分：MDBA(2-メトキシ-3,6-ジクロロ安息香酸ジメチルアミン).....25.0%
水、増粘剤等.....75.0%

1

強力な殺草力

莖の屈曲、葉の異常などホルモン型除草剤特有の症状を起こさせ、宿根性広葉雑草の根部まで的確に枯殺します。

2

高い選択殺草性

広葉雑草とイネ科雑草間に高い選択殺草性を持っています。

3

広い処理適期幅

処理適期幅は生育期となっており、気温が高いほど高い殺草効果を発揮しますが、低温でも安定した効果が得られます。

4

降雨による影響が少ない

株頭からの吸収が早いので、直後の降雨を除いては雨による影響はほとんどありません。

5

早い効果の発現

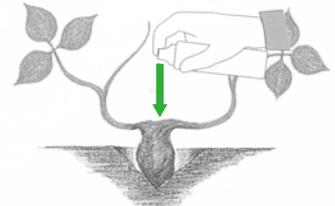
一般処理後1週間程度より奇形捻転症状が現われ、1カ月程度で枯死します。

6

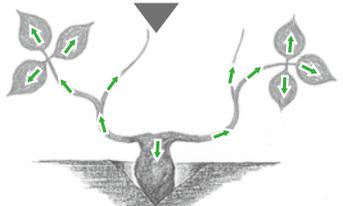
高い安全性

動物および魚類に対する毒性が低く、爆発性、引火性、金属腐蝕性もないので安心して使用できます。

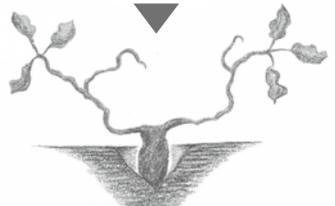
処理後の効き目の現れ方



ディスペンサーの吐出口を下に向け、クズの株頭との間を2cmほど離します。容器は上図のように少し起こしぎみにし、吐出口が株頭の中心にくるようにします。ノズルの頭部を1回押し下す。防除に必要なクズコロン液0.25mlが滴下されます。



クズコロンは処理後直ちにクズ株頭の表皮から植物体内に吸収され、その後は木質部および韌皮部を経て植物体を移行し、生長点および根の先端の分裂組織にたまります。



処理後2日目頃から葉の奇形捻転症状が現れます。



やがて葉が黄化、褐色し生長を停止して、ついには枯死します。

適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	MDBAを含む農薬の総使用回数
林木	林地	クズ	生育期	0.25ml/株	1回	株頭に滴下	1回
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面等				3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地のクズ株頭に滴下	3回以内

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

●容器・空袋は施設内外に放置せず、適切に処理してください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

この印刷物は平成28年1月末日現在の登録内容に基づき作成しました。